SSL ALPHA 8 ユーザーガイド



ALPHA 8を選ぶ理由

究極のオーディオインターフェイスエクスパンダー

高い評価を得ているAlpha Linkシリーズをベースに開発されたALPHA 8は、ADATやS/PDIF経由でオーディ オインターフェースを拡張するのに最適な、8イン/8アウトのプロフェッショナルグレードのアナログ/デジ タル、デジタル/アナログコンバーターです。また、ALPHA 8をUSB経由ですべてのアナログ/デジタルI/O に同時に対応するように設定すれば、18イン/18アウトのオーディオインターフェースになります。クラス をリードする変換、柔軟なルーティング、非の打ちどころのないオーディオパフォーマンスを特徴とする ALPHA 8は、セットアップの可能性を最大限に引き出します。

妥協なきオーディオパフォーマンス

次世代の32-bit/192kHzコンバーターを使用したALPHA 8は、一流のオーディオパフォーマンスでオーディ オ・インターフェースを拡張することができます。あらゆる面で優れたALPHA 8は、卓越したダイナミック レンジ、驚くほど低いTHD+N、極めて低いノイズフロアの中で測定不能なほど低いクロストークを実現し ています。既存のインターフェースのI/Oを拡張する時、もはや妥協する必要はありません。

構成の柔軟性

ALPHA 8は、特定のニーズに合わせて様々な変換設定が可能で、デジタルとアナログのI/Oを最大限に活用 することができます。シンプルな双方向アナログ<>ADAT/SPDIFコンバーターが必要な場合でも、本格的 な18イン18アウトのUSBオーディオインターフェイスが必要な場合でも、あるいはその2つの混合が必要な 場合でも、ALPHA 8は物理的な出力の供給方法について柔軟な選択肢を提供します。

グレートコネクター

各アナログ入出力の動作レベルは、19インチラック機器、ビンテージシンセサイザー、アナログミキサー、 500シリーズモジュール、モニターコントローラーなど、ALPHA 8に接続する機器に合わせて個別に調整で きます。

デジタル側では包括的なクロッキングオプション(ワードクロック入出力、ADAT、S/PDIFを含む)により、Alpha 8はビートを逃すことなく、スタジオ環境での安定した統合を保証します。さらにI/Oが必要な場合や、16チャンネルのADATインターフェースをお持ちの場合はALPHA 8を追加するだけです。

視覚と聴覚による確認

ALPHA 8のフロントパネルには専用のLEDバーグラフがあり、入力と出力のレベルを一目で確認することができます。また、フロントパネルのハイパワーヘッドフォン出力により、オーディオ信号の信頼性を確認する方法として、個別またはステレオペアのパスを素早く検聴することができます。

特徴

究極のオーディオインターフェイスエクスパンダ

- ・次世代32ビット/192kHzコンバージョン
- ・クラスをリードするダイナミックレンジ、THD+N、クロストークオーディオ性能
- ・8系統のバランスライン入出力
- ・最大8チャンネルのアナログ→ADATおよびADAT→アナログ変換
 ○各入出力に設定可能な動作レベルにより、外部機器に最適にマッチ:+24/+20/+18/+9 dBu
 ○DCカップリング出力は、シンセサイザーやモジュラーリグにコントロール電圧を送るのに最適
- ・デジタル入出力10系統(ADAT 8系統、S/PDIF 2系統)

 ・最大2チャンネルのアナログ→S/PDIFおよびS/PDIF→アナログ変換
 ・最大2チャンネルのS/PDIF→ADATおよびADAT→S/PDIF変換

 ・S/PDIFは同軸またはオプティカルコネクターで使用可能
- ・柔軟な変換構成
 - 物理出力には、アナログ、デジタル、USBオーディオを混在可能で非常に高い柔軟性を提供 18イン、18アウトUSBオーディオインターフェース
 - ₀ALPHA 8をUSBオーディオインターフェースとして使用可能 ₀USB経由でアナログ8系統、デジタル10系統のI/Oすべてに録音、再生が可能
- ・フロントパネルヘッドフォン出力-個々の入力または出力(またはステレオペア)を検聴可能
- ・3種類の設定からヘッドホンに最適なものを選択可能
 - ₀スタンダード

ハイインピーダンス

- ₀高感度
- ・専用フロントパネル入出力メーター
- ・ワードクロック入出力&入力終端スイッチ
- ・内部クロック、または入力されるADAT、S/PDIF、ワードクロックに同期

はじめに

開梱

本機は丁寧に梱包され、箱の中には以下が同梱されています。

- ・SSL ALPHA8 本体
- ・安全ガイド及び保証規定
- ・IEC電源ケーブル

SSL ALPHA 8の登録

http://www.solidstatelogic.com/get-started



ALPHA 8にご登録いただくと、SolidStateLogicや業界をリードするソフトウェア会社から提供される様々 な限定ソフトウェアをご利用いただけます。

製品を登録するには、<u>www.solidstatelogic.com/get-started</u>にアクセスし、画面の指示に従ってください。 登録プロセスでは本機のシリアル番号を入力する必要があります。シリアル番号は本体背面のラベルに記載さ れています。

シリアルナンバーは「AL8」で始まります。

登録が完了すると、ログインしたユーザーすべてのソフトウェアコンテンツが表示されます。 このページに戻り、ソフトウェアを再度ダウンロードしたい場合は、<mark>www.solidstatelogic.com/login</mark>から SSL アカウントにログインし直してください。



1.ヘッドホン出力

フロントパネルのヘッドフォン出力で、選択したオーディオパスを個別に、またはステレオペア(奇数番号のセレクトボタンを押し続け、押し続けたまま偶数番号を押す)で確認することができます。 IN, OUT, ANA & DIGフロントパネルボタン

例:アナログ入力5を試聴したい場合:

- ・セレクト5
- ・IN を押す
- ・ANA を押す

ヘッドフォン出力は、設定メニューで異なるヘッドフォンのインピーダンスに最適にマッチするように設定 できます。これについては後で詳しく説明します。

2.ヘッドホンレベルコントロール ヘッドフォン出力のレベルコントロール

3.セレクトボタン

オーディオパスの試聴だけでなく、SELECT ボタンを使ってアナログ入力とアナログ出力の動作レベルを個別 に設定することもできます。お使いのアナログ機器に合わせて、以下のオプションからお選びいただけます。 接続:+24、+20、+18、+9 dBu。

例:アナログ出力1を+24 dBuの動作レベルに設定したい場合

- ・セレクト1
- ・OUT を押す
- ・LEVEL ボタンを押し、中央のパネル+24 が点灯するまで押します。

セレクトキーを押しながら別のキーを押すことで、連続するチャンネルの動作レベルを一度に設定すること ができます。

4.IN、OUT、ANA(LOGUE)、DIG(ITAL)ボタン。

これらのボタンと SEL 1-8 ボタンを併用し、以下の操作を行います:

オーディションのオーディオパス

・動作レベルの設定

アナログ入力または出力の動作レベルを設定する場合、ANAまたはDIGを選択しても違いはありません。 IN(アナログ入力用)またはOUT(アナログ出力用)の選択だけが重要です。 5.中央パネル

8つのアナログ入出力すべてに5セグメントLEDメーター(dBFS)

- .赤= 0 dBFS
- .黄= -10 dBFS
- ・グリーン= -20 dBFS
- ・グリーン= -30 dBFS
- ・グリーン= -40 dBFS

+24/+20/+18/+9 - 選択されたアナログ入力またはアナログ出力の動作レベルを示します。

INT/W/C/ADAT/SPDIF - 選択されたクロックソースを示します。

- 44.1/48/x2/x4 現在のサンプルレートを示します。
- 例:48とx2の両方が点灯している場合、96 kHzを意味します。

USB - USB接続を示します。

6.レベル

アナログ入出力の動作レベルを設定します。SEL 1-8、IN、OUT ボタンと組み合わせて使用します。 "LEVEL"ボタンを長押しすると、設定が逆方向に切り替わります。

7.クロック

クロックソースを切り替えます。INT(内部)、W/C(ワードクロック入力)、ADAT入力、S/PDIF入力から選択します。CLOCKボタンを長押しすると逆方向に切り替わります。

8.レート

内部クロックのサンプルレートを設定します(44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz から選択)。 RATE ボタンを長押しすると、逆方向に切り替わります。

9.設定

設定メニューに入ります。

10.パワー

電源を入れます。



1.パワー

IEC電源ケーブル差し込みロ

2.USB

USB 'C'タイプコネクタ - ALPHA 8をオーディオインターフェースとして使用する場合は、USBケーブルを コンピュータに接続します。ALPHA 8をUSB を介さないAD/DAコンバーターとして使用する場合は、USB を接続する必要はありません。

3.同軸S/PDIF I/O

RCAコネクターによる2チャンネルのS/PDIF入出力。ALPHA 8は同軸のS/PDIFで最大192 kHzのサンプルレートをサポートします。

4.デジタルオーディオオプティカルポート

ALPHA 8は、ADATまたはオプティカルのS/PDIFで96kHzまでのサンプルレートをサポートします。 入力

デフォルトでは、Optical Input 1 は 44.1/48 kHz の ADAT インプット 1-8 または

88.2/96kHz (SMUX) の ADAT インプット 1-4 に設定されています。

Optical Input 2 は、88.2/96 kHz (SMUX)の ADAT 入力 5-8 用に設定されています。

または

オプティカル入力2は、ALPHA 8の設定メニューからオプティカル2チャンネルS/PDIF入力として設定するこ とができます。

出力

オプティカル出力1は、44.1/48 kHzのADAT出力1-8、または88.2/96 kHz(SMUX)のADAT出力1-4に設 定されています。

オプティカル出力 2 は、44.1/48 kHz ではオプティカル出力 1 のミラーとして設定されます

(つまり ADAT 出力 1-8)。

88.2/96 kHzの場合、オプティカル出力2はADAT出力5-8(SMUX)を伝送します。

または

オプティカル出力2は、ALPHA 8の設定メニューから2チャンネルのオプティカルS/PDIF出力として設定する ことができます。

5.ワードクロックI/O

BNCのワードクロック入出力接続は、柔軟なクロッキングオプションを提供します。 ALPHA 8 が外部機器からワードクロック(ワードクロック入力)を受信しており、ワードクロックチェーン の最後のユニットである場合、75Ω終端ボタンを押します。

6.出力1~8

8系統のバランスアナログ入出力(TRSジャック) 各入出力に設定可能な動作レベルにより、外部機器に最適にマッチ:+24/+20/+18/+9 dBu 出力は全てDC結合で、シンセサイザーやモジュラーリグにコントロール電圧を送るのに最適です。

7.INPUTS 1-8

8系統のバランスアナログ入出力(TRSジャック)。 各入出力に設定可能な動作レベルにより、外部機器に最適にマッチ:+24/+20/+18/+9 dBu

応用例

応用例1

8チャンネルのアナログ→ADATおよびADAT→アナログ変換

この例では、ALPHA 8がADATをアナログに、アナログをADATに変換し、SSL 18のようなADAT接続のオ ーディオインターフェースに8 x 500シリーズのプロセッシングモジュールを接続する便利な方法を可能に しています。これは通常、SSL 18のADAT入出力をDAWの「ハードウェア・インサート」として設定する ことで実現します。



応用例2

S/PDIFからADATへの2チャンネル、アナログからADATへの6チャンネル

この例では、SSL 12オーディオインターフェースがADAT経由でALPHA 8に接続されています。ギターアン プモデラーからのS/PDIFの2チャンネルがADATに変換され、SSL 12(ADAT入力1-2)に送られます。 残りのADAT入力チャンネル(3-6)は、複数のステレオアナログシンセサイザーから供給されています。



応用例3

2チャンネルADAT→S/PDIF、2チャンネルS/PDIF→ADAT、 6チャンネルアナログ→ADAT、ADAT→アナログ変換

この例では、オプティカルADAT入出力のみを持つオーディオインターフェースがAlpha 8に接続されてい ます。ALPHA 8のADAT入力1-2(オーディオインターフェースから供給)は同軸S/PDIFに変換され、外部 メータリングデバイスに供給されます。また、ギターアンプモデラーからの2チャンネルのS/PDIF出力は ADATに変換され、オーディオインターフェースに送り返されます。残りのADAT入出力チャンネル(3-8) は、ADATとアナログ、アナログとADATの間で変換され、サードパーティーインターフェースがアナログ アウトボード機器(6チャンネル分)にアクセスできるようになっています。



応用例4

ALPHA 8をUSBオーディオインターフェースとして使用し、様々なアナログ/デジタル機器に接続 この例では、ALPHA 8をMac/Windowsコンピュータに接続し、メインのUSBオーディオインターフェース として使用しています。この構成では、すべてのアナログとデジタルのインプットがインプット(合計18) としてDAWに利用可能で、すべてのアナログとデジタルのアウトプットがアウトプット(合計18)として DAWから送信可能です。このケースでは、Alpha 8のアナログ入力にSSL SiXアナログミキサーと接続し、 ADAT入力にPURE DRIVEマイクプリアンプを接続しています。

アナログ出力はSiXアナログミキサーと同様に外部モニタリングユニットに接続されています。

EXTERNAL PREAMPS WITH ANALOGUE OUTPUTS

ALPHA 8をUSBオーディオインターフェースとして使用する

ALPHA 8のUSBオーディオインターフェース機能は、それを必要とする人たちにさらなる柔軟性を提供し ます。そのため、ALPHA 8はUSB経由でコンピューターに接続すると、18イン、18アウトのUSBオーディ オインターフェースとして使用できます。

アナログミキサーやモニターコントローラーなど、様々な高品質アナログ機器を既にお持ちの場合、

ALPHA 8はスタジオをまとめるのに最適な、高性能で無駄のないUSBオーディオインターフェースです。

あるいは、ALPHA 8をMac上のオーディオインターフェースとして使用し、既存のオーディオイン

ターフェースを補完することもできます。

USBオーディオ(DAW側入力)は以下のようにルートされます。

ALPHA 8 アナログ入力1~8、DAW入力1~8にフィード

ALPHA 8 S/PDIF入力1-2からDAW入力9-10ヘフィード

ALPHA 8 ADATインプット1-8からDAWインプット11-18へフィード

USBオーディオ(DAW側出力)は以下のようにルートされます。

DAW出力1-8はアナログ出力1-8ヘフィード(設定メニューで設定されている場合)

DAW出力9-10はS/PDIF出力1-2へフィード(設定メニューで設定されている場合)

DAW出力11-18はADAT出力1-8ヘフィード(設定メニューで設定されている場合)

Mac

ALPHA 8はCore Audioを使用しているため、Macではドライバーのインストールは不要です。 システム環境設定/DAWでALPHA 8を選択するだけで、オーディオインターフェイスとして使用できます。

Windows

ドライバのインストール (Windowsのみ)

1. USB Type-Cケーブルを使ってSSL USBオーディオインターフェイスをコンピューターに接続します。 2. SSL ALPHA 8 USB ASIO/WDMドライバーをダウンロードしてインストールしてください。

SSL USBコントロールパネル(Windowsのみ)

ドライバをインストールすると、SSL USBコントロールパネル・アプリケーションがコンピュータ上で使用で きるようになります。

このコントロールパネルは、サンプルレートやバッファサイズなどの詳細を報告します。サンプルレート とバッファサイズは、DAW が開いたときにコントロールされます。

SSL USB Controlは、内部クロック、ADAT (Optical 1)、S/PDIF (Coaxial)のクロックソースの設定も可 能です。

コントロールパネルではSSL ALPHA 8をASIOドライバー(1-4)のインスタンスに割り当てる必要があり ます。これにより、複数のSSL USBデバイスで動作する複数のASIOアプリケーションを1つのシステムまた はマルチクライアント環境で使用することができます。

nat Buffer	Sample Settings	Rate Info	Clock Source About	
			Clock Source About	
1 2 3				~
4				
	1 2 3 4 4	1 2 3 4	1 2 3 4	

ALPHA 8の4つのASIOドライバースロットの1つにインターフェイスをリンクする詳細な説明については、この記事を参照してください。

セーフモード

コントロールパネルの「バッファ設定」タブにセーフモードのチェックボックスがあります。セーフモードは デフォルトでチェックが入っていますが、チェックを外すこともできます。セーフモードのチェックを外す と、デバイスの全体的な出力レイテンシーが下がりますので、レコーディングで可能な限り低いレイテンシー を実現したい場合に便利です。ただし、システムに負荷がかかっている場合、このチェックを外すと予期せぬ オーディオのクリックやポップが発生することがあります。

設定ボタンを押して設定メニューに入ります。設定メニューでは、SELECT 1-8 キーでさまざまな機能が切り替わり、その状態が対応する入力 LED メーターに表示されます。

本機背面の光入力 2 と光出力 2 のデジタルオーディオフォーマットを決定します。セレクトボタン 1 で設定を変更します。初期設定は ADAT で、インプットメーター 1 の一番下の緑の LED が点灯しています。 サンプルレート 88.2 kHz または 96 kHz で ADAT を使用する場合、2 つ目のオプティカルポートは ADAT チャンネル 5-8(SMUX) 用に必要です。

セレクトボタン1を押すと、2番目のオプティカルポートのフォーマットがS/PDIFに変更されます(一番上の 赤いLEDが点灯します)。これにより、2ndオプティカルポートをオプティカルS/PDIF I/Oに使用することが できます。この設定に変更すると、88.2または96 kHzで作業している場合、ADATチャンネル5-8を使用でき なくなることにご注意ください。44.1 または 48 kHz で ADAT を使用する場合、ADAT 1-8 は第 1 オプティ カルポートのみを必要とするため、ADAT と S/PDIF オプティカルフォーマットの両方を同時に使用すること ができます。

設定 2 - アナログライン出力ソース

どのデジタルオーディオソースが8つのアナログライン出力に供給されるかを決定します。セレクトボタン 2 で設定を変更します。

・デフォルトの設定(下側の緑LED が点灯)は ADAT INPUTS 1-8 です。この場合、ALPHA 8 は 8 チャンネルの ADAT 入力を 8 チャンネルのアナログ出力に変換します。

・2番目のオプション(中央の緑LEDが点灯)はS/PDIF INPUTS 1-2、ADAT INPUTS 3-8です。この設定では、2 チャンネルの S/PDIF をアナログに変換することができます。S/PDIF入力はアナログに変換され、ア ナログ出力1-2から送られます。また、ADAT INPUTS 3-8 はアナログに変換され、アナログ出力 3-8 から 出力されます。

・3番目のオプション(一番上の赤LEDが点灯)はUSB(DAW)OUTPUTS 1-8です。この設定により、
 USBオーディオ(DAW/コンピュータのオーディオ)からアナログ出力1-8を供給することができます。
 ALPHA 8をUSBオーディオデバイスとして使用するには、USBケーブルをALPHA 8に接続してください。

ADAT 出力に供給するオーディオソースを決定します。セレクトボタン 3 で設定を変更します。 ・デフォルトの設定(一番下の緑LED が点灯)は ANALOGUE INPUTS 1-8 です。 この場合、ALPHA 8 は 8 チャンネルのアナログ入力を 8 チャンネルの ADAT 出力に変換します。

・2番目のオプション(中央の緑LEDが点灯)は S/PDIF INPUTS 1-2、ANALOGUE INPUTS 3-8です。 この設定により、2 チャンネルの S/PDIF から ADAT への変換を柔軟に行うことができます。 S/PDIF入力はADATに変換され、ADAT出力ストリームのチャンネル1-2を占めます。アナログ入力3-8 も変換され、ADAT出力ストリームのチャンネル3-8を占めます。

・3番目のオプション(一番上の赤LEDが点灯)はUSB (DAW) OUTPUTS 11-18です。この設定により、 ADAT出力1~8をUSBオーディオ・ストリーム11~18(DAW/コンピュータ・オーディオ)から供給するこ とができます。ALPHA 8をUSBオーディオ・デバイスとして使用するには、USBケーブルをALPHA 8に接続 してください。

設定4 - S/PDIF出力ソース

S/PDIF 出力を供給するオーディオソースを決定します。セレクトボタン 4 で設定を変更します。

- ・デフォルトの設定(下側の緑LED が点灯)は ANALOGUE INPUTS 1-2 です。 この場合、ALPHA 8はアナログ入力1-2をS/PDIF出力に変換します。
- ・2番目のオプション(真ん中の緑LEDが点灯)はADAT INPUTS 1-2 です。
 この場合、ALPHA 8はADAT入力1-2をS/PDIF出力に変換します。
- ・3番目のオプション(一番上の赤LEDが点灯)はUSB(DAW OUTPUTS 9-10)です。この設定により、 USBオーディオストリーム9-10(DAW/コンピュータ・オーディオ)を S/PDIF出力に供給します。 ALPHA 8をUSBオーディオデバイスとして使用するには、USBケーブルをALPHA 8に接続してください。

ヘッドホンの出力レベルをヘッドホンに最適なレベルに調整できます。セレクトボタン5で設定を変更します。 ・初期設定はSTANDARD(中央の緑LEDが点灯)で、様々なヘッドホンに適しています。

- ・HIGH IMPEDANCE(上部の赤LEDが点灯)は、より大きな電圧駆動を必要とするハイインピーダンスの ヘッドフォンに最適です。通常、250Ω以上のインピーダンスを持つヘッドホンはこの設定が有効です。
- ・HIGH SENSITIVITY(一番下の緑LEDが点灯)は、特定のインイヤーモニター(IEM)または特に感度の高 いヘッドフォンを使用する場合に最も適しています。一般的には100 dB/mW以上のヘッドホンが該当しま す。

設定6 - フロントパネルの明るさ

フロントパネル LED の輝度レベルを調整します。セレクトボタン 6 で設定を変更します。 デフォルト設定は「FULL」(一番上の赤色LED が点灯)で、最大輝度です。

設定7 - 機能なし

設定メニューにはボタン7の機能はありません。

設定8 - ファクトリーリセット

本機のファクトリーリセットを行います。これにより、すべての設定、動作レベル、クロックソース、サン プルレートが工場出荷時のデフォルト状態にリセットされます。

ボタン 8 を押し続けます。入力 8 の 5 つの LED がすべて順番に点灯するまで押し続けます。ユニットが再 起動し、スタートアップシーケンスを実行し始めたら、ボタン 8 を離してください。

ALPHA 8のDCカップリング出力を使用する

ALPHA 8のすべてのアナログ出力はDCカップリングされているため、+/-5V信号を送ることができ、セミ モジュラーシンセやユーロラック、CV対応のアウトボードFXへのCVコントロールが可能です。

CVとは?

CVとは「Control Voltage」の略で、シンセサイザーやドラムマシンなどをコントロールするアナログ方式のこと。

CVツールとは?

CV ToolsはCV対応のインストゥルメント、同期ツール、モジュレーションユーティリティのフリーパック で、Ableton LiveとEurorackフォーマットの様々なデバイスやモジュラーシンセサイザー、アナログエフェ クターをシームレスに統合することができます。

Ableton Live CVツールのセットアップ

😑 Ext. Audio Ef 👋 🕑 自	OV Utility		
Audio To 3 Peak -Inf 0.00 dB	Value Amount 1 96.1 % 100 %	Depth 100 %	CV To Ext. Out • 4 •
Audio From Gain 4 Peak -93.4 Phase Invert Dry/Wet	$ \begin{array}{c} 1 \\ 2 \\ $	Offset (1) 0.00 %	Min Max -100 % 100 %
Hardware Latency	0.00 % 100 % Audio	Smooth 0.00 %	

- ・Ableton Liveセッションを開く
- ・まずCV信号を送るための新しいオーディオトラックを設定します。
- ・次に、パックメニューからCV Utilitiesプラグインをオーディオトラックに挿入します。
- ・CV Utility プラグインを開いたら、CV を指定した出力に設定します。この例ではALPHA 8の出力4 に設定しています。
- ・エフェクト/インストゥルメントからの入力信号で2つ目のオーディオトラックを設定し、Ableton Live に戻って入力をモニターするためにアームを録音します。
- CV ControlチャンネルのCV Valueノブを使って、Abletonから外部インストゥルメント/FXユニット に送られるCV信号をオートメーションできます。これをMIDIコントローラーにマッピングしてリア ルタイムでコントロールしたり、オートメーションをセッションに録音することができます。
- これで、オーディオをAbleton Sessionやその他のDAWに録音して、システムに戻すことができます。
- ALPHA 8を使用する場合、すべての物理的な出力がCVコントロール用のDC信号を送ることができるため、複数のCVユーティリティプラグを設定することができることに注意してください。従って、CV ToolsとALPHA 8を使用することで、最大8つのCVコントロール信号を同時に使用することができます。

- ・Live 10 Suite (バージョン10.1以降)
- ・Live 10 Standard+ Max for Live (バージョン10.1以降)
- ・ALPHA 8のようなDC結合インターフェース(CVハードウェア統合用)
- ・ Ableton Live Packsをある程度理解している
- ・LiveでCV対応ハードウェアを使用する方法をことある程度理解している

ベストプラクティスと安全性

- ・CVを直接スピーカーに送らないでください(直接電圧はスピーカーにダメージを与えます)。
- ・CV Instrumentデバイスは、1V/oct.の同調にバイポーラ電圧(+/-5V)を使用する発振器のみを校 正することができます。しかし、一部のデジタル発振器モジュールは、チューニングにユニポーラ信 号(+5V以上)を排他的に使用します。そのため、CV Toolsはこれらのモジュールと互換性がありま せん。もしお使いのモジュールがこれに該当するかどうか不明な場合は、デバイスのユーザーマニュ アルを参照してください。
- ・注意 Eurorackの信号は、ラインレベルのオーディオよりも最大で5倍も大きいです! モジュラーシステムをデジタルオーディオインターフェースに接続する前に、必ず専用の出力モジュール を使って信号をラインレベルまで下げてください。

仕様

指定のない限り、デフォルトのテスト構成:サンプルレート48kHz、帯域幅:20Hz~20kHz 測定器の出カインピーダンス:40Ω(不平衡20Ω) 測定器の入カインピーダンス:200kΩ(不平衡100kΩ) 特に記載のない限りすべての数値の許容差は±0.5dBまたは5%

入力ライン: +24dBu、+20dBu、+18dBu、+9dBu 周波数特性: 20 Hz - 20 kHz +/-0.1 dB ダイナミックレンジ(+24 dBu A特性): 120 dB ダイナミックレンジ(+9 dBu、A特性): 114.5 dB THD+N(-1 dBFS入力レベル): -110 dB/0.01%以下 入力インピーダンス:10 kΩ

出カライン: +24dBu、+20dBu、+18dBu、+9dBu 周波数特性: 20 Hz - 20 kHz +/-0.02 dB ダイナミックレンジ(+24 dBu、A特性): 123 dB ダイナミックレンジ(+9 dBu、A特性): 114 dB THD+N(-1 dBFS入力レベル): -108 dB/0.01%以下 出カインピーダンス: 150 Ω

ヘッドフォン 出力レベル: +18 dBu、+10 dBu、0 dBu 周波数特性: 20 Hz - 20 kHz +/-0.02 dB ダイナミックレンジ(+18 dBu、A特性): 124 dB THD+N(+18 dBu、-1 dBFS時): -106 dB/0.01%以下 出力インピーダンス: <1 Ω

消費電力 < 30 W

レイテンシー

アナログ→ADAT: 0.09 ms @ 96 kHz / 0.61 ms @ 48 kHz

USBラウンドトリップレイテンシー: 32サンプルバッファ、96 kHz Mac - 5.1 ms Windows - セーフモードオフ 3 ms、/セーフモードオン 5 ms

32サンプルバッファ、48 kHz Mac - 7.8 ms Windows - セーフモードオフ 5ms、/セーフモードオン 7.4ms

寸法と重量
本体
幅:482.6 mm / 19インチ
高さ:43.6mm (1.7インチ
奥行き (フロントパネルコントロールとリアパネルコネクターを含む):294 mm / 11.6 インチ
奥行き (フロントパネルコントロールとリアパネルコネクターを除く):257.8 mm / 10.1 インチ
製品重量:3.6 kg / 7.89 lbs257.8mm (10.1インチ)

箱入り

幅: 630mm / 24.8 インチ 高さ: 100mm 奥行き: 360mm / 14.2 インチ 箱入り重量 : 5.6 kg

動作環境

2000mを超える高度で使用した場合、安全上の問題が生じる可能性があります。

熱帯の気候条件下で使用した場合、安全上の問題が生じる可能性があります。 温度:動作中 +1℃~40℃ 保管時:-20℃~50℃ トラブルシューティング、FAQ、重要な安全注意事項

よくある質問とその他のサポート窓口は、ソリッド・ステート・ロジック・サポートウェブサイトをご覧ください。

安全上の注意

- ・この説明書をお読みください。
- ・この説明書を保管してください。
- ・すべての警告に注意してください。
- ・すべての指示に従ってください。
- ・本機を水の近くで使用しないでください。
- ・お手入れは乾いた布で行ってください。
- ・ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ、その他の熱を発する機器(アンプを含む)の近くには設置しないで ください。
- ・雷が鳴っているときや長時間使用しないときは、本機の電源プラグを抜いてください。
- ・メーカーの指示に従って設置してください。
- ・メーカーが推奨するアタッチメント/付属品のみを使用してください。
- ・修理はすべて資格を持つサービス担当者に依頼してください。本機に何らかの損傷が生じたとき (本機の中に液体 をこぼした、物を落とした、本機が雨や湿気にさらされた、正常に動作しなかった、落下したなどの場合)は、修 理が必要です。
- ・本機を改造しないでください。改造は、性能、安全性、および/または国際準拠規格に影響を与える可能性があります。
- ・本装置に接続されているケーブルに負担がかからないようにしてください。ケーブルを踏んだり、引っ張ったり、
 つまずいたりしないようにしてください。

SSLは、許可されていない者によるメンテナンス、修理、改造によって生じた損害については責任を負いません。 警告:聴覚障害を防ぐため、大音量で長時間使用しないでください。 音量レベルを設定する目安として、ヘッドホ ンで聞きながら普通に話すと、自分の声がまだ聞き取れるかどうかを確認してください。 ソリッドステートロジックジャパン株式会社

〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷3-55-1